

警告

あなたと他の人の安全を守るために次の指示に従ってください。

●作業を始める前に

- この取扱説明書を事前に読み、正しい取扱い方法を十分にご理解の上、操作してください。
- この発電機は車載用として製造はしていませんので車載したまま使用しないでください。
- 発電機を間違いなく取扱うために各部操作に慣れ、すばやく停止させる方法を習得してください。
- 適切な指示なしでは絶対に誰にも発電機の操作をさせないでください。特に子供には絶対操作させないでください。事故や、本機、使用器具の損傷が起こる原因となります。
- 扉を開いたまま雨中で操作しないでください。雨で濡れた発電機や使用器具を使用したり、また濡れた手で操作すると感電することがあります。
- 過労や飲酒、薬物を服用して発電機を使用しないでください。判断が鈍り重大な事故を引き起こすことがあります。
- 排気ガス中には、有害な成分が含まれています。排気は風通しのよい場所に向けてください。ご使用になる方はもちろん、まわりの人や、動植物などにも十分ご注意ください。
- 室内、倉庫、トンネル、井戸、船倉、タンク内などや換気の悪い場所では使用しないでください。換気の悪い場所は、酸素不足と有害な一酸化炭素がたまってガス中毒の危険があります。
- 発電機の改造は絶対にしないでください。
本機や使用器具が故障するだけでなく思わぬ事故を起こす可能性があります。
- 発電機は誤った使用をすると感電など思わぬ事故を起こす可能性があります。
- 発電機の使用に際しては法律や規則がありますので、労働安全衛生規則、消防法、電気事業法などに従ってください。

警告

●各部の点検、清掃は

- 各部の点検、清掃は必ずエンジンを停止し、誤ってエンジンが始動しないように発電機用自動始動盤の主電源スイッチを“切”の位置とし、自動運転/単体運転切換スイッチを“単体運転”の位置にし、さらにエンジンスイッチを“停止”にしてキーを抜取ってください。
- エンジン停止直後の排気口などは非常に熱くなっています。やけどをしないように、各部が十分に冷えてから作業を行ってください。
- 燃料は非常に引火しやすく、火災を引き起こすことがあります。
燃料を補給するときは、エンジンが停止していることを確認し、換気の良い条件で行ってください。
- 燃料を補給しているときは、タバコを吸ったり、炎や、たき火などの火気を近付けないでください。
- 燃料は、こぼさないように注意し、給油限界を超えないように補給して燃料給油キャップを確実に締めてください。もし燃料がこぼれた場合は、きれいにふき取り、乾かしてからエンジンを始動してください。
- エンジン運転中や、エンジンを停止した直後はラジエータ液が高温になります。ラジエータ液の温度が高いときに、ラジエータ本体のキャップを外すと蒸気や熱湯がふき出し危険です。ラジエータ液の温度が十分に下がってから、布切れなどでキャップを包み静かに開けてください。ラジエータ本体のキャップは補助タンクが空になったときやラジエータ液を交換するとき以外は開けないでください。

●使用中の注意

- 前側点検扉以外を開いたままエンジンを運転しないでください。手や足をはさんだり思わぬ事故を起こす可能性があります。
- 雨や水で濡れた本機や使用器具を操作したり、濡れた手で操作すると感電することがあり危険です。
- 発電機からの排気ガスは熱くなります。まわりに危険物（油脂類、セルロイド、火薬など）や燃えやすいもの（わらくず、紙くずなど）は近付けないでください。また発電機の周囲を囲ったり、箱をかぶせたりしないでください。本機や使用器具に損傷を起こすだけでなく思わぬ事故を起こす可能性があります。
- 発電機の運転中は、排気口などが非常に熱くなりますので、排気口などに触れないでください。やけどなどの傷害を起こします。
- 使用中に音、におい、振動などで異常を感じたら直ちにエンジンを停止し、お買いあげ販売会社またはサービス店にお申しつけください。

安全ラベル

発電機を安全に使用していただくために、本機には安全ラベルが貼ってあります。

安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。

ラベルは、はっきりと見えるようにきれいにしておいてください。

本機に貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などで読めなくなってしまったときは新しいラベルに貼り替えてください。また安全ラベルが貼られている部品を交換する場合は、ラベルも新しい物を貼ってください。安全ラベルはお買いあげ販売会社またはサービス店にご注文ください。

